

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6 年 3 月 22 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社サンケイビルウェルケア	ウェルケアテラス谷津	特定施設入居者生活介護 (介護付き有料老人ホーム)
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	リフト付シャワーキャリー (LS-500) LS レールバリエーション (LTF-100)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6 年 3 月 19 日	1 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 既存リフトにはない「チルト機能」により、60名中15名のリフト対象ご入居者に、より快適なご入浴を楽しんで頂け始めており、また、介護スタッフも、既存の吊るタイプではないリフトであるため、落下等の不安も軽減され、安心感が増している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 150分 ② 5人/日 ③30日〕〔導入後：①135分②5人/日 ③ 30日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 導入設置が3/19であったため、スタッフが使用に十分に慣れていないこともあり、導入効果は数字ではまだあまりわからないが、一人当たりの作業時間の短縮にはつながっている。今後、作業日等も検討していきたい。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 特に今のところはなし。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 2月 7日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人江戸川豊生会	特別養護老人ホームかたりの郷福楽園 (ユニット型)	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN NN-1530	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年12月21日	14台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 今回の14台の導入で特養ユニット型全70床に設置完了。 各ユニット (定員10名) のスタッフスペースのPCで睡眠・覚醒・離床の状態を常時把握できるように運用している。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) [導入前: ①120 ② 42 ③ 30] [導入後: ①100 ② 42 ③ 30] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 スタッフルームに居ながら利用者の睡眠・覚醒・離床の状態が把握できるため、定時の巡回以外の高リスクな利用者への頻回訪問が必要なくなり10~15分程度の作業時間が短縮されるとともに職員の心理的負担感が減少している。 また起床・排泄の介助でも覚醒している利用者が把握できるためスムーズに作業が進められ5~10分程度の時間短縮ができています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 通知設定を増やすと職員が対応しきれないため、かなり絞り込む必要がある。 データは豊富に取れるが有効活用できていない。 電源用のUSBケーブルの破損が多い。		

(別紙 2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 2月 7日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人江戸川豊生会	特別養護老人ホームかたりの郷福楽園 (従来型)	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN NN-1530	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年12月21日	6台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 今回の6台の導入で特養従来型全30床に設置完了。 スタッフスペースのPCで睡眠・覚醒・離床の状態を常時把握できるように運用している。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) [導入前: ①180 ② 12 ③ 30] [導入後: ①160 ② 12 ③ 30] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 スタッフルームに居ながら利用者の睡眠・覚醒・離床の状態が把握できるため、定時の巡回以外の高リスクな利用者への頻回訪問が必要なくなり10~15分程度の作業時間が短縮されるとともに職員の心理的負担感が減少している。 また起床・排泄の介助でも覚醒している利用者が把握できるためスムーズに作業が進められ5~10分程度の時間短縮ができています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 通知設定を増やすと職員が対応しきれないため、かなり絞り込む必要がある。 データは豊富に取れるが有効活用ができていない。 電源用のUSBケーブルの破損が多い。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 2月 7日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人江戸川豊生会	特別養護老人ホームかどりの郷福楽園 (ユニット型短期)	老人短期入所施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN NN-1530	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5年12月21日	2台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ショートステイ全10室のうち、不眠のかた・転倒リスクの高いかたの部屋に設置。 スタッフルーム設置のPCで睡眠・覚醒・離床の状態を常時把握できるように運用している。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) [導入前: ①120 ② 6 ③ 30] [導入後: ①100 ② 6 ③ 30] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 スタッフルームに居ながら利用者の睡眠・覚醒・離床の状態が把握できるため、定時の巡回以外の高リスクな利用者への頻回訪問が必要なくなり10~15分程度の作業時間が短縮されるとともに職員の心理的負担感が減少している。 また起床・排泄の介助でも覚醒している利用者が把握できるためスムーズに作業が進められ5~10分程度の時間短縮ができています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 データは豊富に取れるが有効活用できていない。 電源用のUSBケーブルの破損が多い。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 2月 29日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人八千代美香会	特別養護老人ホーム緑が丘美香苑 (ユニット型)	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	wells リフトキャリーチルト WLC-T200	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年 12月 18日	1 台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 12月18日に機器の納品あり、入浴支援機器を翌日より使用。使用頻度は、日曜日を除く月曜日から土曜日を基本として、一般浴槽のみであったが中間浴 (座位) でご入浴が可能となり、中間浴ご利用の方が他ユニットへ移動することなく、生活フロア内での入浴が可能となった。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) 〔導入前: ① 約30分/日 ②1名 ③24日〕〔導入後: ① 約40分/日 ②1人 ③24日〕 ⇒隣接ユニットで入浴する時間、入浴順番の調整など、1台利用では調整を日々行っていたが、導入後は移動する時間削減、週2日程度は午前中に2ユニットの機器を同時に入浴を進行できるようになり、午後には行事やレクリエーションをする時間を設けることができるようになった。介護職員からは、機器が増えたことで入浴するご利用者を分けて入浴介助ができ、時間に余裕が持てるようになった。更に、ご利用者からは、「自宅ではなかった機械で、安心してお風呂に入れる」等の声を頂いている。		
【介護ロボットの不都合な点】 稼働する前に準備として、充電電池の充電し忘れとないように留意する必要がある。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 2月 29日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人八千代美香会	特別養護老人ホーム緑が丘美香苑 (従来型)	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	wells リフトキャリーチルト WLC-T200	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年 12月 18日	1 台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 12月18日に機器の納品あり、入浴支援機器を翌日より使用。使用頻度は、日曜日を除く月曜日から土曜日を基本として、特別浴と一般浴槽、中間浴も増えたことで、同時入浴が状況により可能となった。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) [導入前: ① 約30分/日 ②2名 ③24日] [導入後: ① 約40分/日 ②1人 ③24日] ⇒特別浴と中間浴の各1台で入浴利用調整を行っていたが、導入後は利用者の状況も踏まえ、機器使用を調整しやすくなり入浴進行できるなど、ご利用者にはゆったり入浴をして頂き、介護職員は、急いで入浴介助を意識していた状況から時間に余裕が持てるようになったこと、更に機器を使い腰痛予防になっている。ご利用者からは安心してお風呂に入れているとの声を頂いている。		
【介護ロボットの不都合な点】 稼働する前に準備として、充電電池の充電し忘れとにならないように留意する必要がある。		

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 4月 6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人治生会	船橋あさひ苑	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	aams.介護本体 AAMSK/23 連動 AXIS 製ネットワークカメラ(無線)音声あり M1075-L	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 3月 1日	19台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行不安定で、転倒リスクが高い方の睡眠状況を画像と併せて見る事で、覚醒し離床か、寝返り等か確認でき、訪室順番が判断しやすく、不要の訪室も減る。 ・睡眠状況を確認し、覚醒時にトイレ誘導が行える。安眠を妨げる事が減る。 ・看取りの方の呼吸・心拍を確認し、異常の早期発見や過度の訪室、滞在が減る。 		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数(分/日) ②作業人数(人/日) ③作業日数(ひと月あたり)</p> <p>[導入前: ① ② ③] [導入後: ① ② ③]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>看取り3名対象。夜間(21-翌8時)の状態確認に1h毎に訪室。</p> <p>[導入前: ①訪室3分/回×10=30分 滞在3分/回×10=30分 ②3人/日 ③3月中27日間]</p> <p>①1h×②3人×③27日=81h</p> <p>看取り3名に使用。夜間(21-翌8時)の状態を1h毎に、訪室と機器・カメラで確認を併用。</p> <p>[導入後: ①訪室3分/回×5=15分 滞在3分/回×5=15分、機器画面1分/回×5=5分 ②3人/日 ③3月中27日間] ①0.58h×②3人×③27日=47h</p> <p>81h-47h=34h</p> <p>3月は看取り対象者に使用。以前より34時間削減できた。他、夜間居室に滞在しての確認は、暗い中、呼吸がわかりづらい方もいて、職員は時間を要し緊張感があった。機器により呼吸・心拍が見える化し、訪室してご利用者の顔に手をかざす等せず確認ができています。直接訪室による利用者、職員の負担軽減を図れた。今後は、転倒リスクがある方や、適切なトイレ誘導の声かけが実施できるよう、残りの機器を使用。導入効果が大きいと期待できる。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>機器の理解、設定が難しい。機器を多く保有しても一斉に導入するには、扱う職員の理解が必要。</p> <p>購入時の補助金は有難いが、メンテナンスなども含め導入後の費用が高額。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年 4月15日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社 ZEN ウェルネス	アシステッドリビング稲毛	特定施設（介護付き有料老人ホーム）
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	バスリフト EWB103N トランスファーボード EW8200R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年 9月 1日	1台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・導入前は、一般浴で浴槽に入れたい利用者様がシャワー浴のみになってしまったり、座位が取れるのに浴槽がまたげない利用者様を機械浴で対応していましたがバスリフト導入により約11名ほどが安全に、肩まで浴槽に浸かって入浴ができるようになりました。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①60分 ②4人 ③ 30日〕〔導入後：①40分 ②2人 ③30日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・入浴介助での着座や浴槽への入浴動作が安全、かつ効率的に行うことができるようになり、介護職員の負担が軽減されている。 ・バスリフトに座って入浴できることにより、今まで一般浴でシャワー浴のみだった利用者様より「肩までつかれて嬉しい」との声が聞かれている。 ・ストレッチャー（機械浴）だった利用者様からも、座って入れることで視野も広がり安心できること、また自分で手の届く範囲を洗うこともできるようになったため、自立支援につながっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 片側からしか入浴出来ない為、麻痺がある方には少し不便がある。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 5 年 12 月 20 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
三喜株式会社 /	小規模多機能・ろくじろう /	小規模多機能型居宅介護 /
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援 /	リフト付きシャワーキャリー LS 専用レール LTF-100 /	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5 年 11 月 20 日 /	1 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・浴室に1台設置。1日8名の入浴介助に毎日使用。 /		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ②作業人数（人/日） ③作業日数（ひと月あたり） [導入前：①180分 / ②2人 ③30日 / [導入後：①150分 / ②1人 ③30日] / ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・浴槽をまたぐ時、機械浴使用時は2名の介助で行っていたが、入浴機器導入後は1名の介助で入浴可能になった。 / ・浴槽にスムーズに入ることが出来るようになり、利用者の負担、介助者の負担が大幅に減った。 /		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ・ずり落ち、座位保持が不安定な利用者への入浴介助時は注意が必要。 /		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月 14日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 天光会	特別養護老人ホーム 恵光園シャイニー中央	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 2月 1日	16台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
<ul style="list-style-type: none">・夜間等の眠りの状況を可視化することで、適切なタイミングで排泄介助に入ることができている。・眠りの状態をデータ化することにより、日中の活動についての検討や眠剤の導入の検討や導入後の睡眠状態の変化を把握し、データにて医師に相談することができている。・お看取りの方に導入することで、呼吸や心拍によって状態把握の目安に活用している。・転倒リスクが高い方に対して、センサーとしての機能を活用して転倒を予防する活動に役立っている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 30分 ② 10人 ③ 30日〕 〔導入後：① 15分 ② 10人 ③ 30日〕		
<ul style="list-style-type: none">・睡眠状況を可視化することにより、人員が少ない時間帯（特に夜間帯）の訪室回数を軽減することができている。特に頻回な状態確認が必要となるお看取りの方の対応について職員の負担・不安の軽減に役立っている。新規入所者の睡眠状況のデータ化を行うことで、その後のケアを検討する上で参考になっている。睡眠導入剤等の薬の効果を検証する上でも重要なデータが得られている。呼吸や心拍をリアルタイムで計測できていることから、体調の変化や病気の早期発見にもつなげることができている。		
【介護ロボットの不都合な点】		
<p>ご利用者様の状態が離れたところからアニメーションで把握できるというメリットがある反面、あくまで眠りを測定する装置であることは理解しているが、実際の状態とアニメーションにタイムラグが発生してしまうことから、訪室した際はすでにベッドから離れているという状況が度々発生してしまい、転倒のリスクが高い方への対応が遅れてしまうこと。</p> <p>また、可視化できることから人員が少ない時間帯での対応で、同時に事象が起きた場合の対応する優先順位の選択が余計に困難となってしまうことがある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月 14日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 天光会	ショートステイ 恵光園シャイニー中央	短期入所生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 2月 1日	4台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】		
<ul style="list-style-type: none">・新規入所者の睡眠状況の把握。・夜間等の眠りの状況を可視化することで、適切なタイミングで排泄介助に入ることができている。・眠りの状態をデータ化することにより、日中の活動についての検討や眠剤の導入の検討や導入後の睡眠状態の変化を把握し、データにて医師に相談することができている。・転倒リスクが高い方に対して、センサーとしての機能を活用して転倒を予防する活動に役立っている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】		
① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：① 30分 ② 10人 ③ 30日〕 〔導入後：① 15分 ② 10人 ③ 30日〕		
<ul style="list-style-type: none">・睡眠状況を可視化することにより、人員が少ない時間帯（特に夜間帯）の訪室回数を軽減することができ、職員の負担・不安の軽減に役立っている。新規入所者の睡眠状況のデータ化を行うことで、その後のケアを検討する上で参考になっている。睡眠導入剤等の薬の効果を検証する上でも重要なデータが得られている。呼吸や心拍をリアルタイムで計測できていることから、体調の変化や病気の早期発見にもつなげることができている。		
【介護ロボットの不都合な点】		
ご利用者様の状態が離れたところからアニメーションで把握できるというメリットがある反面、あくまで眠りを測定する装置であることは理解しているが、実際の状態とアニメーションにタイムラグが発生してしまうことから、訪室した際はすでにベッドから離れているという状況が度々発生してしまい、転倒のリスクが高い方への対応が遅れてしまうこと。 また、可視化できることから人員が少ない時間帯での対応で、同時に事象が起きた場合の対応する優先順位の選択が余計に困難となってしまうことがある。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年4月1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社創生事業団	グッドタイムホーム・南行徳	特定施設（介護付き有料老人ホーム）
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステムM2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年1月18日	16台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象の入居者様のベッドに設置 ・入居者様の体動を検知しナースコールに連動、職員が確認 ・体重の把握 ・通知の状況に応じ職員が対応 		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：①10~30分②2~6人/日③毎日] [導入後：①0~10分②2~6人/日③毎日]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の状況が通知の種類により把握できるため訪室の機会を選択できる ・体重計を使用せず体重測定ができる ・ナースコールと連動するため職員の移動負担が低減した 		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守りセンサーの特性上、多動の入居者様に対し相性が悪い 		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年4月1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社創生事業団	グッドタイムホーム・行徳	特定施設（介護付き有料老人ホーム）
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステムM2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年1月25日	10台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・対象の入居者様のベッドに設置 ・入居者様の体動を検知しナースコールに連動、職員が確認 ・体重の把握 ・通知の状況に応じ職員が対応		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：①10~30分②2~6人/日③毎日] [導入後：①0~10分②2~6人/日③毎日] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・入居者様の状況が通知の種類により把握できるため訪室の機会を選択できる ・体重計を使用せず体重測定ができる ・ナースコールと連動するため職員の移動負担が低減した		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ・見守りセンサーの特性上、多動の入居者様に対し相性が悪い		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年4月1日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社創生事業団	グッドタイムナーシングホーム・幕張	特定施設（介護付き有料老人ホーム）
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム M2	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年1月25日	11台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・対象の入居者様のベッドに設置 ・入居者様の体動を検知しナースコールに連動、職員が確認 ・体重の把握 ・通知の状況に応じ職員が対応		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：①10~30分②2~6人/日③毎日] [導入後：①0~10分②2~6人/日③毎日] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・入居者様の状況が通知の種類により把握できるため訪室の機会を選択できる ・体重計を使用せず体重測定ができる ・ナースコールと連動するため職員の移動負担が低減した		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・見守りセンサーの特性上、多動の入居者様に対し相性が悪い		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 2月 6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人清規会	芙蓉荘	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守りケアシステム FB-L-3・B30V M2 Wi-Fi	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年1月22日	3台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>3台とも使用しています。夜間帯のベッド上にての体動やPトイレ誘導時にセンサー使用し、一早く駆け付けられる為、未然に転倒防止に繋がっています。使用頻度は毎日（夜間帯）に使用しています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：①50分 ②2人 ③29～31日] [導入後：①30分 ②1人 ③29～31日]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>・より細かくセンサーの設定（起き上がり・立ち上がり・動き出し等）が行え、その利用者の行動に合ったセンサーの種類を選べるので、センサーが鳴りっぱなし等も少なくなり、誤作動等もない為、確実に駆けつける事が出来ます。作業日数は毎日使用している為、その月の日数分ですが、作業時間の短縮やそこにかかる職員の人数も限定できる為、とても満足しています。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>・現時点では不都合なく利用しております。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月7日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人河内厚生会	特別養護老人ホーム南三咲	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠りスキャン NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 1月 15日	16台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>夜間巡視に使用しています。睡眠状況の把握に使用しています。 使用頻度は毎日です。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>〔導入前：①40分/日 ②1人/日 ③2.5日〕〔導入後：①20分/日②1人/日③1.25日〕</p> <p>巡視の回数を増やさずに夜間の排泄を把握出来ました。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>体動の少ない利用者の睡眠が正確に取ることが困難である。 自動体交との組み合わせによって、心拍や呼吸がうまく計測できず、 機能のフル活用が難しい。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月 7日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人河内厚生会	地域密着型特別養護老人ホーム三咲館	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠りスキャン NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 1月 15日	4台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 夜間巡視に使用しています。睡眠状況の把握に使用しています。 使用頻度は毎日です。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 〔導入前：①40分/日 ②1人/日 ③2.5日〕〔導入後：①20分/日②1人/日③1.25日〕 巡視の回数を増やさずに夜間の排泄を把握出来ました。		
【介護ロボットの不都合な点】 体動の少ない利用者の睡眠が正確に取ることが困難である。 自動体交との組み合わせによって、心拍や呼吸がうまく計測できず、 機能のフル活用が難しい。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年 3月 28日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 愛の友協会	特別養護老人ホーム 長生き邑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	① バイオネクスト (無線) ② ワイヤレスフロアセンサー ③ バイオコール送信機	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 1月 1日	①: 4台、②③: 6台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 立位・歩行困難、認知症の既往があり、ベッドからの転落・転倒のリスクが高いご利用者に対し、未然の事故防止のため、臥床の都度、使用している。また、夜間、職員が少ない時間帯にご利用者が動き出してしまう際に気づくことが可能で、本格的に動き出す前に訪室、トイレ誘導等の対応が可能。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ①1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) [導入前: ①60分②6人③30日] [導入後: ①20分②3人③30日] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・特に夜間の訪問回数、対応回数が1/3以下に減った。 ・徘徊・転倒のリスクが劇的に減った。またそれに伴う不要な見守りが減り、職員の労務削減に寄与している。職員の肉体的な負担と併せ、精神的な負担削減にも効果が出ている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・本当のところは、ほぼ全員のご利用者に対して使用したい。しかし、金銭的にそれは無理がある。 ・ときどき、誤作動を起こすことがある。しかし、事故発生リスクを考えると、そのくらいのほうが安心である。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6 年 3 月 11 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 双樹会	特別養護老人ホーム こぶしの里	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	①コールマット・コードレス (＋分配コンセント) ②超音波・赤外線コール (＋分配コンセント)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月1日	①2台・②3台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ①②…転倒・転落リスクの高いご利用者様やナースコールの使用が難しい方に設置し、事故防止に努めている。また作動状況を記録することにより、行動パターンの把握にも繋がっている。 ②…居室の入口等に設置することにより、必要以上に行動範囲を狭めることなく、見守りが出来ている。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ①1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) 〔導入前: ①約20分②約3人③約30日〕〔導入後: ①約15分②約2人③約20日〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ①②…見守り機器を導入することにより、動作に備えた見守りや訪室時間が減少。より必要な状況に絞れることにより、職員の負担軽減やご利用者様のストレス軽減に繋がっている。また、コードレスタイプであることから、設置場所を柔軟に検討できるようになった。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・不都合な点はなく使用出来ている。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年 1月 9日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人双樹会	特別養護老人ホーム桃花苑	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	コールマット・コードレス 超音波・赤外線コール	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年11月20日	5台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>大腿部を骨折しており、医師より安静の指示が出ている利用者に設置していますが、夜間帯など人員が最小時でも動きを直ぐに察知できていることで事故防止に繋がっています。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：① ② ③ 〕〔導入後：① ② ③ 〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでは夜間帯などで職員のこまめな巡回を行いながら利用者の動きを把握していましたが巡回回数を減らし、利用者の睡眠時間の確保、職員の業務負担軽減に繋がっています。 ・センサーマットを設置することで利用者の動きはもちろんのこと、排泄パターンなどの把握にもなり、利用者ごとのケア見直しまで向上できています。 		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>以前はコードがあるタイプでしたが、今回はコードレスなので、スマートに設置できる点が良いです。また、赤外線タイプも感度も問題ないので特に使い勝手において不都合な点はありません。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年 1 月 15 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人双樹会	特別養護老人ホームプラタナス	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	ベッドコール・コードレス	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月7日	4台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ・認知症を有しており、ナースコールの理解が困難な利用者に対して、日中及び夜間、毎日使用している。ベッドから起き上がる時点（ベッドから背中が離れた時点）で検知できるようベッドコールを設置し、より早い段階で行動察知、転倒予防に繋がられるようにしている。また新規利用者の行動観察にも使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ・設置前は、巡視や巡回を頻回（5分に1回程度）にすることで、利用者の行動把握や事故予防に努めていたが、マンパワーに頼った対応であるため、介護従事者も転倒や転落事故を予防することに限界を感じていたが、設置後は、巡視や巡回ではカバーできなかった行動把握に非常に有効であり、介護従事者の精神的負担の軽減に繋がっている。また利用者の動き出しに対してすぐに検知ができるため、不要な巡視を減らすことで、他の利用者への対応や業務に時間を使うことができている。また当該利用者に対しては、起き上がりの時点で検知できるため、その後の転倒や転落防止、トイレ誘導等、状態観察や生活リズムの把握に役立っている。起き上がりからの行動がスムーズな利用者においては、転倒事故が発生したため、今後の環境整備について、随時検討していくこととしている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ・早い段階で行動を察知できているため、特に不都合な点はなし		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 3月28日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 双樹会	ダンディライオン	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	① エアパシアシリーズ KA-N1411K (ナースコール中継ユニット NU-1760) ② コールマット・コードレス HC-R ③ 超音波・赤外線コール HUI-R	
介護ロボット導入時期	導入台数	
①令和 6年 3月18日	①・② 3台	
②・③令和 6年 2月 1日	③ 2台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 日常、離床・移乗動作に介助を要すが、自身の身体状態の認識が薄く、判断力の低下した利用者を使用。特に、転倒・転落の可能性があり、夜間に排泄介助が必要な利用者については対象者の特徴に合わせて設定し、転倒予防に効果がある。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 導入前は、動作後に気付くケースがあったが、導入後はナースコールやPHSに連動しているため、早期に対応でき、利用者の安全確保に効果が出ている。 また、転倒等の事故を防止できているため、日中はもちろん、特に、夜勤者には精神的負担の軽減にもつながっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 導入間もないこともあり、機器の設定に時間が必要。 センサーに頼りがちになり、利用者の特徴に合わせた介護や環境設定への意識が低くなる ことが懸念される。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6 年 3 月 15 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人双樹会 /	地域密着型特別養護老人ホーム リバーサイド /	地域密着型介護老人福 祉施設 /
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	① コールマット・コードレス ② ベッドコール・コードレス /	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6 年 1 月 20 日 /	2 台 /	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ナースコールの理解が困難で、転落・ずり落ち及び転倒のリスクのある入居者を選定し、センサーマットを設置。職員数が少ない時間帯（特に夜間）においては、無駄のない見守り確認ができ事故防止につながっている。 /		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前:① 60分 ② ③] [導入後:① 30分 ② ③] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 作業人数・日数に変わりはないが、巡回トータル時間は約半分になった。 / 入居者の動きにより感知し手持ちの電話と連動している為、危険行動前に対応することができる。 職員の精神的不安も軽減され、他の業務も安心して行えている。 /		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 特になし /		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 2月 26日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人美野里	特別養護老人ホーム輝陽園	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	ベッドセンサーシステムタイプ C2 ベッドセンサーシステムタイプ C2 増設キット AI搭載防塵防水対応ネットワークカメラ Qwatch (クウォッチ) カメラ用クリップ式スタンド 32GB MICUROSDXC/SDHCカードドライブレコーダーム オプション入力コード フジパーツ変換 AVケーブル1ピン-1ミニプラグ 1.5M	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 1月 16日	4台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること ベッドからの転落や立ち上がり時の転倒予防のため、終日センサーを利用している。特に夜間帯は呼吸状況の確認も含め毎晩活用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：①30分/1夜 ②2人/1夜 ③30.5日] [導入後：①10分/1夜 ②1人/1夜 ③30.5日] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 コールが反応するタイミング（ベッド上での体制）を個々設定できるため、利用者ごとに適切な時に反応するので、それまで使用していたコールマットより早く訪室し対応することができるようになった。また、カメラで状況が分かるので目視で安全が確認でき、訪室の回数が減った。呼吸の様子から就寝状況が確認できることから、巡視による利用者の就寝を妨げることが少なくなった。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・カメラが映らなくなり、立ち上げなおすことが多くある。 ・シーツ交換をするなど、ベッドを移動する場合にはセンサーの移動方向等の確認が必要 ・エラー等があると、PCなどに詳しい職員しか対応ができない。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6年 2月 26日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人美野里	小規模特別養護老人ホーム輝陽園	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	ベッドセンサーシステムタイプ C2 ベッドセンサーシステムタイプ C2 増設キット AI搭載防塵防水対応ネットワークカメラ Qwatch (クウォッチ) カメラ用クリップ式スタンド 32GB MICUROSDXC/SDHCカードドライブレコーダ 分配コンセント (アイオンNF6ピン) RCAピンプラグケーブル2M	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 1月 16日	6台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 毎日、夜間帯に就寝状況を確認しながら、転倒事故防止のため使用している。日々の就寝状況の記録も行い、ご利用者の生活リズムを把握することもできている。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ① 1人あたり平均作業時間数 (分/日) ② 作業人数 (人/日) ③ 作業日数 (ひと月あたり) [導入前: ①30分/1夜 ②2人/1夜 ③30.5日] [導入後: ①10分/1夜 ②1人/1夜 ③30.5日] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 夜間帯の巡視回数が大幅に減った。以前はマットコールを使用していたが、訪室するまで状況が分からなかったが、コールと共にカメラで状況が分かるので不安が解消された。また、呼吸の様子から就寝状況が確認できることから、定期的な巡視で利用者の就寝を妨げることが少なくなった。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ・カメラが映らなくなり、立ち上げなおすことが多くある。 ・シーツ交換をするなど、ベッドを移動する場合にはセンサーの移動方向等の確認が必要 ・エラー等があると、PCなどに詳しい職員しか対応ができない		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 明生会	ハイアットレジデンス 季美の都ちば	特定施設入居者生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り支援	見守り支援システム「眠りSCAN」	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 1月 16日	4台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>3月末時点において「眠りSCAN」以前導入済の機器と合わせ9台稼働している。効果が継続的に感じられたため追加整備となった。ADL低下のため排泄時の自力動作では転倒の危険がある方、或は心拍や呼吸検知を必要とする方に対して使用しており、モニターで常に状態確認出来ると共に体動によるアラーム鳴動によって即座に訪室し対応できるため転倒防止と体調変化への対応に大いに役立っている。職員の心理的負担軽減にもなっている。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） [導入前：①270分 ②30人 ③5.625日] [導入後：①90分 ②18人 ③1.875日]</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>導入前においては提示巡視以外で安否確認のための作業として1人あたり10回/日、1回につき約3分×9人=270分を要しており、作業人員は延べ人数30人/日、作業日数：270分×30日=8,100分÷1日1440分=5.25日分の負担となっていたが、検知時のみ対応すればよい状況となったので1人あたり平均対応10分×9人=90分、アラーム時の対応1日あたり作業人員18人、1月あたりの作業日数：90分×30日=2,700分÷1日1440分=1.875日に減少した</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。</p> <p>呼吸数値や心拍数値（2段脈等）に若干の検知誤差が感じられ、アラーム後の直接計測では異常はない事がある。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年2月6日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 煌徳会	ショートステイ新千葉一倫荘	短期入所生活介護
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
入浴支援	ウェルスキャリー標準セット 跨ぎサポート付き WLC-200	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和5年12月18日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <p>ショートステイでは平均して1日3名の要介護者を個浴にて入浴支援しています。特に個浴槽への移乗介助についてはシャワーキャリーを使用することによって負担の軽減、時間の短縮、安全度の向上につながっており、その利便性から毎日使用しております。</p>		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①30分②1～2人③毎日〕〔導入後：①20分②1人③毎日〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <p>シャワーキャリーを使用することにより、個浴槽の移乗を含めた時間が30分から20分程度に短縮された。また移乗介助時の負担軽減及び転倒落下事故等のリスク軽減により、対象職員は全員満足している。要介護者も人力より機器の移乗の方が安心できる様子。現在1日平均3人の入浴支援で機器を活用している。</p>		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <p>不都合な点は特に無し。機能的には十分な性能があり使い勝手も良い。</p>		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年 3月 13日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人ノテ福祉会	特別養護老人ホームノテ船橋	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
排泄支援	排泄予測デバイス DfreeProfessionalWi-Fi 版	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和6年 1月 1日	1台	
<p>【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に2名選定し、前半後半にわけて2週間アセスメントを実施。 ・利用者の目的に合わせ、機器を使用しデータを収集。 ・翌月の排泄委員会にて、データ収集した利用者の報告会を実施。そこから得られたアセスメントによって、利用者の排泄方法を見直しやおむつの選定を行い、そこから1か月見直した内容を実践。 ・さらにその翌月の排泄委員会にて、実践内容の報告を行い改善の有無を検証。 		
<p>【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】</p> <p>①1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり）</p> <p>〔導入前：①30分/日 ②5人/日③150回/月〕〔導入後：①20分/日②4人/日③120回/月〕</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な時間誘導が実現し、トイレ誘導が可能になったことで失禁が減った。その分コスト削減及び職員効率化を実現。 		
<p>【介護ロボットの不都合な点】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械の音波を膀胱にあてる為、腹部に脂肪が多いと適切にデータが取れない。 ・認知症状が強い方だと、機械を紛失する恐れがある。 		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 6 年 3 月 12 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
グッドタイムリビング株式会社	グッドタイムリビング新浦安	特定施設（介護付き有料老人ホーム）
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN (NN-1530)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 5 年 12 月 5 日	17 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・安否確認（頻度：都度）全スタッフが入居者の覚醒等の状態を確認し訪室のタイミングを把握する為に使用。 ・体調管理（頻度：状態変化が見られた時）介護スタッフや看護師を中心にターミナルもしくはそれに近いと考えられる入居者の心拍・呼吸の日誌データを確認。場合によってはその日誌データを担当医への説明時に使用。入眠状況は睡眠日誌データを確認。 ・排泄介助（頻度：特に夜間帯、起き上がりのタイミング）入居者が覚醒をしている時に排泄介助に入る。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ① 1人あたり平均作業時間数（分/日） ② 作業人数（人/日） ③ 作業日数（ひと月あたり） 〔導入前：①85分 ② ③ 〕〔導入後：①51分 ② ③ 〕 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等を活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・上記導入前後の時間短縮の効果は適切なタイミングでの訪室が可能となった事による訪室平均回数減少を、時間換算をして表記しています。 導入前：補助金活用導入数 17 枚(室)×1分(訪室平均時間)×5回(訪室回数)=85分 導入後：補助金活用導入数 17 枚(室)×1分(訪室平均時間)×3回(訪室回数)=51分 ・安否確認、排泄介助について 訪室しないと状態が確認出来なかったが遠隔で把握が出来るようになった。訪室回数の軽減によりスタッフの労務負担軽減に繋がり心理的にも常時、状態が確認出来る為、安心感にも繋がっている。排泄介助は覚醒時に訪室する事により入居者の協力動作が増える等、双方にとって直接・間接負担の軽減効果がある。 ・体調管理について 訪室時以外でも体調変化を把握することができる為、体調変化時等の早期対応が可能となった。夜間の睡眠傾向が把握できる為、不眠を訴える入居者のデータを主治医と共有し適切な睡眠改善に向けての対応策が講じられる。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 ・特になし。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和6年 3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 千寿会	特別養護老人ホーム ゆうしゅう園 (事業所番号:1272400183)	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援ベッドシステム エスパシアシリーズ パラマウントベッド株式会社	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 6年 3月28日	10台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 不眠やトイレ頻回の利用者様の夜間の見守りとして使用している。 センサーは起き上がりを検知するモードで使用している。 これまで使用していたセンサーマットも合わせて使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ①1人あたり平均作業時間数(分/日) ②作業人数(人/日) ③作業日数(ひと月あたり) [導入前:① ② ③] [導入後:① ② ③] ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 まだ導入して間もないので、センサーの精度に対する情報が揃っていないため、見守り業務としての訪室の回数が減ったわけではない。今後、センサーの精度を理解すれば、無駄な訪室業務が減ることを期待している。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 現段階では特にありません。		